



連載  
太田哲也  
の

第26回 F360のcockpit改善策。  
[TEZZO F 360ストラダレ製作プロジェクト]

# フェラーリ

# ニッポン ストラダレ

メカニズム面では大方のモディファイも終わり、  
テストやサーキット走行も順調。  
となると次に気になってくる部分は、  
後まわしになっていたcockpitの使用感や  
快適性となる。今号ではまず、  
スイッチ類のリフレッシュプランをご紹介したい。

著者プロフィール 隠岐麻里奈

サッカーなどを中心としたスポーツドキュメントを得意とするスポーツライター。ほかに、一般誌で著者インタビューなどの連載も持つ。

隠岐麻里奈 ● 文 text by Marina Oki

青山勝己 ● 写真 photographs by Katsumi Aoyama

テツゾ ● 写真&協力 photographs&cooperation by TEZZO

☎045-948-5535 / HP=<http://www.tezzo.co.jp>



太田は、フェラーリ360に乗りながらも、ある点をとても気にしていた。それは、室内スイッチ類がネバネバしてしまっていることだった。「走っていて楽しいのに、スイッチに触れるたびに、このギトギトとした感触に萎えるんだよね」。

太田の感覚に、共感するフェラーリ・オーナーも多いだろう。「きたないなあ〜」。

「触るのが気持ち悪い」。そんなフェラーリに似つかわしくない気持ちになったことがあるかもしれない。フェラーリは、走らせて性能を楽しむスーパーカーであるだけでなく、美しさも堪能できるクルマだ。だから、なおさら改良できないものだろうか？ 太田は考えていた。それとも、すでに10年が経過しようとしている360は、もう仕方がないのだろうか？

その解決方法の糸口は、スイッチ類の素材にあった。360は、高級感を出すためにゴム系の塗装を使っている。これが経年変化で劣化して溶け出し、しまい、擦り切れてくる。その結果、ネバネバしてしまうのだ。ゴム系の塗装を使うスイッチは、数年経過すると確実にこのような状態になってしまう



(上) すべてのスイッチ類を丁寧に取り外す。根気のいる作業だと、こつこつとやって並べてみるとよくわかる。装着する際にもキズをつけないように細心の注意が必要だった。(右) 塗装やツヤを消し処理をした後に、赤外線に当てて乾燥させる。(下) ネバネバになってしまったスイッチ。こんなネバネバを解消したい！という人にはリフレッシュがおすすすめ。新品交換では高額になってしまうが、その何分のイチかの値段でリフレッシュしてみるのはいかがだろうか？



という弱点がある。これはフェラーリ特有のものであり、もしかすると大きさかもしれないが、フェラーリの最大の弱点と言えるかもしれない。フェラーリの速さよりも美しさの方がより理解しやすい女性の私にはそう思える。

そこで、今回TEZZO F360を徹底的にキレイに磨き上げようということになった。メカニックたちに出された作業内容は、懸念の室内スイッチのリフレッシュプランだった。どうせなら、スイッチだけでなく、灰皿やステアリングコラムなど気になる箇所すべてをやるということになった。

確かに、気にしてみると、頻繁に手に触れるパドルシフトも色が剥けて見苦しい状態になっている。それが、どんな風に蘇るのか、私も楽しみだった。しかも、新品パーツに交換するのでは高額になってしまうため、あくまでもリフレッシュにこだわった。

題して、TEZZO F360ネバネバ解消リフレッシュプラン！

以下が、その作業箇所である。ドアハンドルオープン、ロックスイッチ、運転席左のドア下にあるスイッチ類（ASSR、バックフォグ、リヤ熱線、足まわり）、ステアリングコラム、パドルシフト、中央エアコンパワ



ーウィンドウスイッチ、エアコン操作パネル一式、中央ハザード、パーキングランプ、中央パネル全体、灰皿の中、助手席ドアノブステイ上下部分など。ざっと挙げただけでも、これだけ多岐に渡る箇所が太田から「要ネバネバ解消」と希望が出た。

まずは、メカニックがスイッチ類にキズをつけないように取り外す作業から始めた。そして、すべてのスイッチひとつひとつを手作業で磨いていった。とはいえ、このネバネバをとる作業には、小さいスイッチひとつでも1時間以上も要する途方もないものになったのである。

まず、特殊な洗剤と溶剤を使って、ひたすらこする。このとき、こすりすぎでしまうとスイッチの文字類が消えてしまう恐れがある。ネバネバ部分だけをとり除き、なおかつ文字が消えないよう慎重かつ丁寧にやる必要があった。すでに純正のロゴが消えかかってしまっていた「LOCK」スイッチは、

新たに細かいロゴステッカーを貼った。場合によっては、塗装がはげてしまっているスイッチもあり、塗装及び特殊な保護材で丁寧に仕上げた。クルマをメカたちに託してから1週間以上が経過した。「リフレッシュプランが完了したので、見に来てほしい」と連絡が入り、太田はさっそくファクトリーに向かい出した。

すぐに、360の扉を開け、シートに座る。すると、太田が声をあげた。「おお、キレイになっているね」。

それから、あらゆるスイッチ類に触れ、感触を楽しんでいた。緑の塗装ははげて見苦しかったパドルシフトは、艶消し処理して、新品のような輝きを取り戻していた。ベタベタになっていたステアリングコラムも、メカが付着していたプレートを手洗いしてから艶消し処理をして、ピカピカに蘇らせ、プレートを貼り直してあった。

ご覧のとおり汚かった360が生まれ変わった。ピカピカに磨かれ、新車のような内装に生まれ変わった。何より触れてみると不快だった「べとべと」感がなくなっている。年数が経った360に乗り込んでいるオーナーならきっと共感できるはず。フェラーリとの生活を楽しむためにも走りや速さだけでなく、美しさへのこだわりは不可欠だ。[TEZZO STYLE]リフレッシュプラン！(価格は近日決定)

された。バラして、蓋の裏や中身など細部に至るまで溶剤を使って徹底的に洗浄された。キズが入らないよう元どおり装着する際に細心の注意が必要とされたそう。

スイッチ類ひとつひとつに、私も手で触れてみたが、すっかり不快感がなくなっていた。目に見えないところまで手が届いたような、さりげないオシヤレを施され清潔感が増した360は、新車のような輝きを取り戻し、なんだか誇らしげに見えた。太田が言う。「ネバネバがすっかり解消されたね。見た目も色の剥げ落ちがなおっていたり、新品にかえたみたいでうれしいなあ。ものすごく印象が変わった」。(次ページへ続く)

## 自分だけのスパイダーを『創る』。

**ホビダス** <http://www.hobidas.com/>に  
アクセスし7桁のポビダスナンバーを入力すると、購入画  
面に行けます。(携帯電話からはアクセスできません)

**TEZZO  
STYLE**  
—MODIFY PARTS—



**1** 56の頃からモダン・アルファロメオのロード&サーキットテスト及びパーツ開発を行ってきた太田哲也。そのノウハウが反映されるのがTEZZOのモディファイパーツとなるのだが、現行モデルである159、プレラ、そしてスパイダーにもそれぞれ各種パーツをラインナップしている。そこで今号は前号のプレラに続き、スパイダーのパーツを紹介する。

とはいえ159とプレラと共通パーツも多いから、そのほとんどはスパイダー専用品ではない。それだけモダン・アルファが効率的に造られている裏返しでもある。ただ、マフラーだけは専用品だ。オープンモデルということで特にサウンドには拘りたいが、アイドリングでは抑え目、踏み込めば迫力あるサウンドを奏でる。ぜひあなただけのスパイダーを『創って』ほしい。



**TEZZOプレミアムマフラー**  
＜スポーツVer.＞ 価格24万1500円  
TEL 51874906

**TEZZOプレミアムマフラー**  
＜サイレントVer.＞ 価格24万1500円  
TEL 51874907

センターパイプを変更しなくても、コンパクトなスペース内に大径パイプが隙間なくレイアウトできる。美しい手作り品で、スパイダー専用設計となる。



**TEZZOフロントスポイラー**  
＜TEZZO WEDGE LINE/TEZZO刻印入り＞  
価格6万9300円  
TEL 51874908

好評の159用のイメージを踏襲。ノーマルと同程度のクリアランスを確保し、機能と美しさが融合した「WEDGE LINE」。スパイダー/プレラ共通だ。

**プロドライブTEZZO仕様  
鍛造アルミホイールGC-07J  
18インチ**  
【アルファロメオ純正  
センターキャップ装着可能バージョン】  
価格23万9200円(キャンペーン価格)

TEL 51864515  
最軽量スベックで、サーキットや市街地で乗り心地と性能向上を確認済み。レースカー同意匠のステッカーとアルファロメオのセンターキャップが装着可能なオリジナルモデルを数量限定発売。スパイダー/プレラ/159共通。



**TEZZO F1タイプアルミパドルシフト**  
価格2万1000円  
TEL 51852893

拘りのアルミ削り出し、美しいシルバーと黒のアルマイト、ショットピーニング処理が特徴となるパドルシフト。スパイダー/プレラ/159専用設計だ。



**TEZZO モノブロックブレーキキャリパー**  
価格ASK  
TEL 51874909

モノブロックは2ピースに比べ耐久性が高く剛性感アリ。純正ローターの使用が可能で17インチにも対応可能だ。スパイダー/プレラ/159専用設計。



室内の雰囲気が一変しガラリと変わるアルミフロアボードを装着。430スクーデリアを思わせる雰囲気、センター付近にはTEZZOのロゴマークが入る。踵には滑り止め加工も。

担当したメカニックたちも、ひたすら細かいスイッチを磨くという根気を要する作業をしてきた苦労が、太田の言葉で報われたようだった。

さらに太田が、ドライビングポジションをとって足を伸ばすと、足元にも工夫が施されていた。少しよれてしまったフロアマットが取り除かれていた。そして、新たにアルミ製のフロアボードが専用デザイナーに作られた。運転席と助手席のスペースに隙間なく、まるで眺めたかのように収まっている。430スクーデリアのようなタイプで、TEZZOのロゴとシンボルマークも施され、シルバークロームで足元が引き締まり、スポーティさが増した。さらには、踵に滑り止め加工も施されているため、運転もしやすくなっている。

こうして、TEZZO F360は、新車の輝きを取り戻した室内のリフレッシュと「アルミフロアボード」の設置が完了した。

太田は、まだ「美しさ」について気になっている点がある。それは、モデルナの「赤」がわずかだが退色していることだった。そこで、TEZZO F360はガラスコートをボディはもちろぬ、走る度に汚れるホイール、足まわり、そしてウインドウすべてに施されることになった。

ガラスコートといっても、その種類や効果はさまざまである。耐久性や仕上がりがさまざま。次回、TEZZO F360がどう変化したのか、色が蘇ったのか。その模様を引き続きレポートしていきたい。

(文中敬称略)

## TOPICS

### 自動車専門学校で講演を開催。

5月、東京都内の東京自動車大学校にて太田哲也による講演が行われた。学生たちが集まって、熱心に太田に自動車のこと、将来のことを質問していた。講演後は、当連載に登場するTEZZO F360を囲んで記念撮影。



### TEZZO杯開催中!

発足4年目を迎えますますます盛り上がってきたTEZZO RACERS CLUB。クラブでは定期的にドライビングレッスン&TEZZO杯を開催中だ。今季は、フェラーリ・オーナーを募集してのドライビングレッスンも太田哲也を講師に行なう予定。開催予定日は9月19日または10月4日。フェラーリを誰よりも気持ちよく走らせることを知る太田の元で、ドライビングについてイチから学べる貴重な場だ。



TEL 045-948-5535  
e-mail = info@tezzo.jp